

軍人恩給法中改正法律案件 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

軍人恩給法中改正法律案

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 男爵小澤 武雄君 副委員長 男爵有地品之允君

委員 子爵加納 久宜君 男爵赤木 惟昭君 男爵野田 裕通君
男爵村上敬次郎君 男爵外松孫太郎君 岡野敬次郎君
桑田 熊藏君

明治四十四年三月十九日(日曜日)午前十時二十一分開會

○委員長(男爵小澤武雄君) 是ヨリ開會イタシマス、軍人恩給法中改正法律案ニ付イテ政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(男爵石本新六君) 御便宜上先ヅ大體ノ御話ヲシマシテ、ソレカラ各法文ニ付イテ逐條ニ御話ヲ申上ゲマシタ方ガ便宜カト思ヒマス、ソレカラ改正案ヲ主トシテ而シテ衆議院ノ修正ガゴザイマシタ此修正ハ、アトデ申上ゲマシタ方ガ、便宜ト思ヒマスガ、或ハ混合シテ申シマシタ方ガ御便宜デゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウ

○委員長(男爵小澤武雄君) 如何デゴザイマセウ

○男爵有地品之允君 修正ノ所ハアトテ願フタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(男爵石本新六君) ソレハハ衆議院ノ修正ハ後ニ別ニ申上ゲルコトニ致シマス、此度政府カラ提出イタシマシタ軍人恩給法中ノ改正案ハ、唯今御手許ヘ差上ゲマシタ刷物ノ中ニ黒書シテゴザイマスノガ現今法律トシテ行ハレテ居ルモノデゴザイマス、ソレニ朱書ヲ以テ追加イタシタリ或ハ修正ヲシタ所ガゴザイマス、是ガ即チ政府カラ提出ニナリマシタ改正案デゴザイマスカラ、其御含ミテ書類ヲ御覽ニナリマス、是レ一ツテ現行ノ法律ト改正トガ分リマス、而シテ此度出シマシタ改正案ノ大體ノ趣意カラ申上ゲマスレバ、是ハ理由書ニモ大體書イテゴザイマス、昨年官吏恩給ノ増加ガゴザイマシタ、一般ニ増俸ト申シテ居リマスガ、此増俸ノ關係カラシテ文官ハ御承知ノ通り俸給ノ四分ノ一ト云フモノガ出發點ニナッテ居リマスカラ、俸給ノ増加ニ伴ッテ自然ニ恩給モ増加スルト云フ形ニナッテ居リマス、是ハ申スマデモナク御承知ノコトデゴザイマセウ、即チ増俸ノコトヲ御協賛ニナルト同時ニ併セテ恩給モ増加スルト云フコトヲ御注意ノ上デ御調査ニナッタコトト思ヒマス、然ルニ武官ノ恩給ト申シマスモノハ俸給トハ相關聯シテ居リマセウカラ、特ニ恩給法ノ改正ヲ實行スルニ非ズンバ一方ニ増俸ガアリマシテモ恩給ガ之ニ伴ッテ増加スル譯ニハ參リマセヌノデゴザイマス、此二ツノヤリ方ノ違ッテ點ニ付イテハ何レ種々

御質問モゴザイマセウカラ唯今申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、何レ是ハ御質問ガアッタラ申上ゲルコトニ致シマス、要スルニ現今ノ制度ガ文武各別ニナッテ居リマシテ、文官ノ恩給ハ自然ニ増俸ニ伴ッテ上ボリマスガ、武官ノ方ハサウ云フコトガ出來ナイノデゴザイマス、即チ茲ニ此改正案ヲ提出シテ改正ヲ要求イタマスノガ大體ノ本旨デゴザイマス、ソレデ實ハ昨年既ニ増俸ノコトガ決マルト同時ニ此改正案ヲ提出イタシマスガ至當デアッタカモ知レマセウガ、御承知ノ通り増俸ハ大體ノ上ニ於テ二割五分ト云フコトニ決マリマシタ、ソレガ爲ニ取調ニ時日モ要シ、又色々諸方ノ意見等モゴザイマシテ、遂ニ昨年ノ議會ニ提出シテ御協賛ヲ求メル運ビニ至リマセヌデゴザイマシタカラ、本年ニ至ッテ之ヲ出シマシタ譯デゴザイマス、ソレガ爲ニ或ル條項ノ如キハ既往ニ溯ッテヤラナケレバナラヌト云フコトニ立至リマシタ、ソレカラシテモウ一ツハ此増俸ニ伴ヒマシテ賑恤金ナルモノ、即チ給助金、此給助金ト云フモノヲ多少増シマシタガ、即チ是マデノヤリ方デハ單ニ年限ト云フコトニ重キヲ置カレ、誰モ彼モ三年以上ニシテ職務ヲ離レ若クハ死ンダ者モ、同様ト云フノデアリマシタガ、ソレニ幾分ノ等差ヲ付ケテ三年ニシテ死ンダモノハ幾ラ、十一年ニ僅カ數日ヲ缺イテ死ンダ者ハ幾ラト云フ如ク、此差等ノ間ニ於テ即チ五年デ死ンダ者ハ五年、六年ニシテ死ンダ者ハ六年ニ相當スルヤウニ致シ、職務ヲ離レタ場合ニモ矢張り斯ノ如クニシタラ宜カラウト云フノデゴザイマシテ、此改正案ガ出テ居ルノデゴザイマス、モウ一ツハ寡婦孤兒ノ扶助料デ、此寡婦孤兒ノ扶助料ト云フモノハ文官ノ方ニ於キマシテハ當人ノ勤メマシタル年數如何ニ關係シマス、言ヒ換ヘレバ恩給ノ出發點ガ文官ノ方ハ十五年カラ四十年マデモゴザイマシテ、其間一二年ニ六十分ノ一ツ、増シテ行キマスカラ、當人ガ四十年即チ最上點ノ恩給ヲ貰ッテ居テ、ソレガ歿シマシタトキニハ其寡婦ノ貰ヒマス高ハ四十年ニ當ル恩給ノ三分ノ一デゴザイマス、然ルニ武官ハ其勤務ノ如何ニ拘ラズ出發點ガ即チ十一年ノ金額デアッタ、サウシテ其三分ノ一ト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレヲ文官ト同様ニ武官ノ方モ改メタラ宜カラウト云フノデハ改マッテ居ルノデアリマス、是等ガ主要ナル改正ノ骨子ト云ッテモ宜シイノデ其他ハ是マデノ注文ノ不備デアリマシタノヲ補ヒ、或ハ種類ノ官等ニ對シテハ特ニ斯ウ云フ恩給ヲ給スルト云フヤウナコトガ條項中ニ籠ッテ居リマスガ、是等ハ改正ノ主要ナル事柄デハゴザイマセウ、ソレカラ金額ヲ増シ方ハ表面デ御覽ニナレバ分カルコトデゴザイマスガ、將校ハ大體二割五分増、下士ハ二割増、卒ハ一割五分、ト云フヤウナコトデ其増シ方ガ出來テ居リマス、ソレハナゼサウシタカト申シマスト云フト、二十七年デゴザイマシタカ三十九年デゴザイマシタカ免除恩給ト云フ下士卒ノ恩給ナルモノハ増加シテ居リマス、三十七年デス三十七年ノトキニ免除恩給ト云フモノハ下士卒ニ關係スル恩給デゴザイマスガ、此恩給ガ増シテ居ル、約五割増ニナッテ居リマス、ソレデスカラ此度ノ加ヘマスト下士卒平均シテ六割ニナガシト云フ増加ニナリマスノデ是マデノト合セテヤレバ割合ハ下士卒ニ厚クシテ將校ニハ薄イト云フ意見デ之ヲ出シマシタノデアリマス、是ガ政府提出ノ改正案ノ骨子デゴザイマス、ソレカラ各條ニ付イテ御説明申シマスガ、第六條ヲ御覽クダサイ、第六條ハ前申シマシタ如ク或

官等ノ、朱書シテゴザイマスヤウナ官等ノ者ハ、官等ハ比較的低位ノゴザイマスガ、俸給ハ澤山賁ツテ居ル人ヲチゴザイマス、是ハ一段ツ、上ノ方ノ恩給ヲアルコトニナリマス、ツレカラ又下士カラ出身シテ將校ニナル者ハ是ハ是カラ上ハ昇レナイ種類ノ者デアリマス、是モ幾分特別ノ待遇ヲ與ヘルトスウ云フ趣意デアリマス、其次ガ第十八條、是ハ給助金ノコトデアリマス、前申シマシヤウニ年限ノ多少ニ應ジテ給スル當ニ官等ノミナラズ年限ニ依ツテ區別スルコト云フヲ提出シマシタ、但書ハ前ノ六條ノ但書ト同一ノモノデアリマス、第十七條、是ハ此後ノ二十四條ニ改正ガアリマス、其二十四條ノ改正ノ關係カラ、其刑期滿限ノ翌日カラト云フコトヲ入レマシタ、二十四條ハ主トシテ海軍ノ關係カラ、斯ウ修正スル必要ガアリマシタガ、ツレハ海軍次官カラ委シク御説明ガアリマセウガ、前ノ「六、陸海軍下士」トアリマシタノヲ「陸軍下士」ダケニシテ「七」ノ所ニ「陸海軍下士及諸卒ニ於テハ」ト修正ヲ加ヘテ條文ノ不備ヲ補ヒマシタ、ツレカラ第二十八條、第二十八條ハ前ニ申上ケマシタ寡婦孤兒ノ扶助料ト云フモノガ表面デ出來テ居リマシタノヲ止メテ文官ノ方ノ扶助法ト同一ノ筆法ニ依ツテ第何號表ノ何分ノ一トスルコト云フ風ニシテ、死シテ情態ニ依リマシテ戰死トカ、公務疾病トカ、若クハ他ノ病症死亡クナタト云フ者ニハ或ハ其金額ヲ給シ、或ハ三分ノ二トカ三分ノ一トカラ給スルコト云フコトニナリマシタ、是ダケガ……

○男爵水本惟昭君 第一號表ト第二號表ト云フノハ、ドウ云フノデスカ

○政府委員(男爵石本新大君) 一號表ハ戰死、二號表ハ其他ノモノデアリマス、ツレカラ附則ノ朱書ヲ御覽ヲ願ヒマス「公布ノ日ヨリ之ヲ施行スル」ト云フノハ四月一日ト云フ豫定デ居リマスガ、其日カラ之ヲ施行スル「但シ明治四十三年四月一日以後本法施行ノ日迄ニ於テ現役ヲ離レ又ハ現役中死シタル者及其ノ遺族ニ給ヘキ恩給ノ金額ハ本法ノ規定ニ依ル」大體斯ウ決メマシタ、此決メマシタノハ前申シマシヤウニ増俸ノ關係カラ來テ居ルカラ、昨年ノ四月一日ガ増俸ノ出發點デアルカラ、其出發點マデ溯リテ、ツレマデノ間ニ現役ヲ離レ若クハ死シタル者ハ同様にコトヲシヤウト云フコトデアリマス、ツレカラシテ「本法施行以前退職恩給、免除恩給、給助金又ハ扶助料ヲ受ケヘキ權利發生シタル者ニ給スヘキ恩給ノ金額ハ前項但書ノ場合ヲ除クノ外總テ從前ノ規定ニ依ル」是ハ從前ノ通り變ラナイト云フコトデアリマス、ツレカラ「從前ノ規定ニ依リ退職恩給又ハ免除ヲ受ケ死シタル者ノ遺族ニ給スヘキ扶助料及其ノ轉給ヲ受ケヘキ者ニ給スヘキ扶助料ノ金額ハ總テ從前ノ規定ニ依ル」從前ト異ルコトハ無イト云フコトヲ附則ニ入レマシタ、是ガ改正案ノ要旨デアリマス、然シテ是カラ修正案ノコトニ付イテ大體ヲ申上ケマスルガ、修正案ニ於キマシテ、ドウ云フ所ヲ變ヘタノガ著シイ變化デアルカト云フ大體ノ事柄カラ申シマスレバ重立ツタモノガ三ツ四ツアリマス、其一トシテ勘定スベキコトハ第一、下士卒將校ト云フモノデ増加額ノ違フト云フコトガ不公平デアル、既ニ二十七年ニ増シテ今日マデ經過シタモノハ、今日マデツレガ相當ト看テ居ルノデアル、數年前ニ増シテ居ルノヲ勘定ニ入レテ、下士卒ハ此時ニ増シテ居ルカラト云フノヲ以テ此度薄クシテ將校ニ厚クスルノハ不公平デアル、均一ガ宜シイト云フノデ、將校ノ二割五分ヲ二割ニ引下ケ、卒ノ一割五分ヲ二割ニ引上ゲテ、中樞ヲ取テ總テ二割ニ改メラレマシタ、是ガ表ノ上ニ現ハレテ居リマス、上

大將ヨリ下二等卒マデ均一ニ二割増ニ決メルト云フノガ修正ノ一ノ箇條デアリマス、ツレカラ第二ニ變ヘマシタノハ恩給ヲ昨年ノ四月一日マデ溯ツテアルノハ是ハ宜シクナイ、或ハ唯法文ノ上カラ言ツタナラバ四月一日マデ行クノガ當リ前カ知ラヌガ、法律ハ制定シタ日カラアルノデアル、ツレハ溯リ「行ケバ、モット必要ノモノモアリハセヌカ、依ツテ溯ルノハイケンナ、昨年ノ四月一日カラ本法施行ノ間ニ或ハ現役ヲ退キ或ハ死シタル者モアラウ、ツレ等ハ可哀サウト云ヤア可哀サウ、氣ノ毒ト云ヤア氣ノ毒デアルガ、是ハ不幸ト云フヨリ外、仕方ガナイ、又金額ニ於テモ大變ノ響キ來ルト、斯ウ云フコトデアリマス、金額ノコトハ御質問ガアレバ申上ケマス、ツレハ昨年ノ四月ニハ溯ラナイ、ツレカラモウ一ツハ寡婦孤兒ノ扶助料、是ハ今日マダ寡婦孤兒ノ扶助料ヲ貰フテ居ラナイ者ガアル、ツレハカラ之ヲ施行シタ日カラ實行スルノガ當リ前デアル、即チ今日恩給ヲ貰フテ居ルノ寡婦孤兒タル人ハ其本人ガ昨年ニ現役ヲ退カウト十年前ニ退カウト十年前ニ退カウト、ツレハ問フ所ニアラズ、寡婦孤兒ノ扶助料ヲ貰フ權利ノ發生スルノハ當人ノ恩給者ガ死シテカラ後ニ發生スル事項デアルカラ、法律發布ノ日カラ實行スレバ宜イデヤナイカ、言ヒ換ヘレバ初メノ案ハ四月一日マデ溯ルノデアツタノヲ、ズット手前マデ引上ゲテ來ル、是ガ一ツ、モウ一ツハ救助基金、是モ必シモ年數ニ應ジテ細カクスルニ及バヌ、唯俸給ノ増シタダケノモノヲ是マデノ規則ニ依ツテアルト云フコトニシタラ宜イデハナイカ、改メテ之ヲ増スト云フ必要ハナイカラ之ヲ廢メテ二割増ナラ二割増ニスルト斯ウ云フコトデアリマス、モウ一ツハ全ク此提出シタ法律ノ趣意ガ異ツテ居テ、此改正案ニハ緣故ノ無い問題デアリマス、三十七八年役ノ増加恩給ト二十七八年ノ増加恩給ト大變ニ相違ガアル、是ハ二十七八年二十三三年ノ役ニ從事シテ居タル者ニ少ナクモ三十七八年ト同一ニシテ貰ヒタイ、ツレガ出來ズハツレニ近イ所デアツテ貰ヒタイト云フコトデ、是ハ年々出ルノデ、本年ノ如キモ貴衆兩院ニ向ツテ出マシタノデアリマス、衆議院ノ方ハ是ハ別ニ法律案ヲ拵ヘテ軍人恩給法ニ改正ヲ加ヘ或ハ特別ノモノヲ拵ヘルト云フノデ法律制定委員ト云フモノマデ出來テ居ツタ、トコロガ政府カラ改正案ヲ出シタノデ之ヲ見合ハシテ此中ニ其意味ヲ含マスト云フコトニナツテ、ツレガ爲ニ唯今ノ附帶シテ居ル理由書トハ全ク違ツタ所ガ這入ツテ居リマス、何故コンナモノガ這入ツタト云フコトニナリマス、提出案トシテハ全ク豫想外ノコトデアリマス、サウ御承知ヲ願ヒタイ、而シテ此衆議院ノ意思ノ有ル所ハ不公平デアルカラ之ヲ補フ方法ヲ設ケタイト云フノデアリマス、政府ハ之ニ答ヘテ曰ク、日清戰役若クハ三十二年ノ役其他ニ於テハ多少一時金ト云フモノヲヤツテ居ル、是ハナカク金額モ多イ、之ヲ算盤ヲ取ツテ算用シテ見ルト云フト、或ル階級、或ル年金ノ人ニ於テハ一時金ヲ貰フタ方ガ勘定ガ宜イノデアリマシタ、大體ニ於キマシテハサウ惡ルイコトハナイ、ケレドモ多數ノ人間ハ先ヅ是ハ消費シテ仕舞ツテ今日ハ無い、請願ヲ出ス人タチハ矢張り三十七八年役ノ者モ一時金ハ貰フテ居テ其上ニ増加恩給ガ増シタト云フ觀念ガ彼等ニ有リハセヌカト思ハレルノデス、惡意ヲ以テ貪ルト云フコトナク、全ク知ラズニ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、其コトニ付イテ衆議院ノ委員ノ大多數ハ、不公平デアル、増加恩給デモ増シテヤツタラ宜カラウト云フ御意見デアリマシタ、尙ホ加ヘテ申上ゲテ置キマスノハ、三十七八年若クハ三十二年ノ役ニ從事シタル者ハ一時金ヲ貰フテ居リマスルガ、青森ノ雪中行軍ニ屬シテ凍傷シテ德利ニナツテ生キテ居ル彼等ハ何モ

貰ッテ居ラヌト云フ憫レムベキ情態デアリマス、是等ノ如キモノモ疾クニ其際ニ何トカシテ
ヤラケレバナルマイト云フコトデアリマシタガ、是ハ世上ノ同情ヲ得マシテ一時諸方カラ
シテ義捐金等モアリマシテ、之ヲ與ヘテ居リマスガ、彼等ノ懷ロ合カラ言ヘバ戰時ニ於テ
負債シタヨリモ澤山貰ッテ居リマス、是ハ政府カラヤッタ譯デアリマスガ、是デ辛抱ヲ
シロト云フ金デハナイカラ、ソレヲ以テ之ヲ拒ムト云フ理由モ無イデアリマスガ、是モ今
度加ハリマシテ多少モ恩給ヲ受ケルコトニナッテ居リマス、大約德利ニナッテ居ル人間
ハ三十二人アリマス、是ハ六十三圓カ六十四圓ニナッテ居リマスカラ、彼等モ是デ満足
デアラウト思ヒマス、最モ人数モ少ナイデアリマス、此外斯ウ云フ例ハ海軍ニモ陸軍ニ
モアラウト思フデアリマス、個人ノトシテ公務ノ爲ニ足ラ失ツタカ手ヲ無クシタトカ
云フ者ガ澤山アラウト思ヒマス、是等モ幾分カ恩惠ヲ受ケルコトニナッテ居リマス、新シク
這入ッテ來タ條項ハ是ハアトノ附則ヲ述ベマスルトキニ申上ゲマス、之ニ伴ッテ舊イ規定ニ
依ッテ扶助料ヲ貰ッテ居ル者モ同様ニスル、斯ウ云フ事柄デアリマス、大要申上ゲマスル
云フト今ノヤウナコトデ、將校ノ貰フ恩給ニ割五分ヲ二割ニシテ扶助料ヲ減シタ、其
金額ヲ以テ寡婦孤兒ノ扶助料ヲ減シタ増シ、又一方ニハ相當ノ率ヲ増シ、一方ニハ
増加恩給ヲ増スト斯ウ云フコト算盤ヲ取ッテ見ルト大概出合フ、若クハ其方ガ減ル位
ノ勘定ニナリマス、是ハ大藏省ニ話シテ同意ヲ得テ居リマス、故ニ今度ノ修正案ニ付
イテハ金ハ減ツテモ之ガ爲ニ増スト云フコトハ無イデアリマシテ、條項ニ就イテ御話ヲ申
上ゲルト、第十六條ノ所ノ給助金ガ今申シタヤウニ變リマスルノデ「其額ハ第四號表ニ
依ル」ト云フコトガ修正案デ生キルノデ、ソレカラ「給助金ハ」ト云フ所カラ「但」ト云フ所
マデ消エル、第七條ハ改正案ノ通り、二十四條モ手ハ著ケテ居ヌ、二十八條モ其通り、
ソレカラ附則ハスツカリ變リマス、朱ヲ入レテアル附則ハ殘ラズ取消シラ願ヒタイ、本文ト
シテ衆議院ノ修正案ハ斯ウ云フコトニナリマシタ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」「本
法施行以前退職恩給、免除恩給、給助金又ハ扶助料ヲ受ケヘキ權利發生シタル者ニ
給スヘキ恩給ノ金額ハ總テ從前ノ規定ニ依ル」今日マデ貰ッテ居ルノハ動カナイノダト云
フデアリマス、ソレカラ「從前ノ規定ニ依リ扶助料ヲ受ケル者其ノ權利消滅シタルカ爲
轉給ヲ受ケヘキ者ニ給スヘキ扶助料ノ金額ハ總テ從前ノ規定ニ依ル」是ハ扶助ヲ受
ケタ者ガ、寡婦ガ、死シテ總領ニ移リ、總領ガ死シテ次男ニ移ルト云フコトデアリマ
ス、是モ從前ノ通りデアリマス、ソレガ「本法施行ノ際現ニ退職恩給又ハ免除恩
給ヲ受ケ又ハ受ケヘキ權利ヲ有スル者ノ遺族ニ給スヘキ扶助料ハ本法ノ規定ニ依ル」
トナリマシタガ、是ガ即チ溯ルト云フコトヲ申シタノデ、現ニ恩給ヲ受ケテ居ル者ニハ何等
ノ關係ハゴザイマセヌガ、受ケテ居ル者ノ妻子ニ溯ッテ「本法ノ規定ニ依ル」ト云フデア
リマシテ、年限ノ多イ者ハ其多イモノニ從ヒ金額ノ多イ者ハ其多イモノニ從フデアリマ
ス、遺族ハ此恩給ニ依ッテ恩惠ヲ受ケルト云フデアリマス、ソレカラ「明治三十七年二
月六日以前現役ヲ離レ增加恩給ヲ受ケル者ニ對シテハ本法施行ノ日ヨリ第十條第一
項ノ規定ニ準シ第三號表ノ金額十分ノ八ニ相當スル増加恩給ヲ給ス但シ圓位未滿ノ
數ハ圓位ニ滿タシム」是ハ増加恩給ノ所デ公務若クハ戰場デ不具廢人ニナリマシタ者ノ
増加恩給ヲ増シタルト云フ、前申シマシタ所ノ事柄ノ法文デゴザイマス、其次ニ「陸軍
武官傷痍扶助及ヒ死亡ノ者祭案並ニ其家族扶助概則、海軍退隱令又ハ陸軍武官

恩給令ニ依リ傷痍若ハ疾病ノ爲扶助料、退隱料又ハ恩給ヲ受ケル者ニ對シテハ命令
ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ前項ノ規定ニ該當スル服役十一年未滿ノ者カ受
クヘキ恩給金額ヲ給ス」是ハ恩給法ノ制定以前ニ斯ウ云フ趣意ノ規定ガゴザイマシ
タ、佐賀ノ役トカ、或ハ明治十年ノ役トカ、ソレ等ノ事ニ於テ今日困ッテ居ル者ノ恩
給ナリ、扶助ナリト云フモノガ、今日トハ違ッテ居ル、ソレ等ヲ改正ノモノト同様ニシテヤ
ラウ、是ハ重モニ廢人ノ者デアリマス、他ノ者ハ前ノ規定デヤラレル譯デアリマスガ、
手が無クナツタトカ、目ガ片方無クナツタト云フ者ノ増加恩給ノ關係デアリマス、ソレカラ
「第十條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス」第十條ノ二項ハ戰地ニ於テ疾
病ニ罹リタル者、又ハ公務ノ爲ニ傷痍ヲ受ケタル者デアリマシテ、是ハ前二項ノ場合ニ
準用スルト云フノデ、此第十條第二項ノ規定ハ前條第一項ニ該當スル傷痍疾病ガ
アッテ其上ニ更ニ第二項若クハ第三項ガ重ネタルト云フコトデアリマシテ、之ヲ準用スル
云フデアリマス、即チ盲目ニナッテ、手が一本無イト云フ者ハ前二ハ無カッタデアリマス、三
十九年ノ時ニソレガ加ハタデアリマシテ、今度ノ役ニハ大分ゴザイマシタ、兩手が無クナ
テ、目ガ關ケタト云フヤウナ、三ツ失ツタ所ノ者ガイ、クラ井アッタデアリマス、ソレ故ニ今
度はマデノモノデハ不備ダト云フノデ、更ニ其上ノモノガ有ツタナラバ、其上ノモノニ十分ノ
六ヲ増シタルト云フ規定ガ出來タデアリマス、今度雪中行軍ニ於テ不具トナツタ者
ハ、是ガ増シテ貰ヘルコトガ出來ルデアリマス、前ニハ四足ガ無イ、四足ガ無イト言フノハ
妙デアリマスガ、兩手ト兩足ガ無イデアリマス、此兩手兩足ガ無イト云フモノニ對シテ
ハ同ジ扱ヒヲ受ケサセナケレバイカナイト云フデアリマス、今度兩手兩足ガ無イ者ハ兩
手ノ無イ者ノ受ケル金額ニ更ニ十分ノ六ヲ増シタルト云フデアリマス、是ハ雪中行
軍ノ者ナドヲ助ケル譯ニナリマス、是ガ今ノ條項デゴザイマス、ソレカラ「第四項又ハ第五
項ノ場合ニ於テ陸軍卒ハ陸軍一等卒ノ額ニ依ル」是ハ前ノ時ニハ區別ガゴザイマセヌ
ガ、今度ハ區別ガ設ケテアリマスカラ、サウ云フ事ハ此額ニ依ルト云フコトデゴザイマス
○男爵有地品之允君 今ノ第四項第五項ト云フハ、九條ノデスカ
○政府委員(男爵石本新六君) 此規定ノ中ノ一項、二項、三項、四項ト云フ此項
デアリマス、是ガ増加恩給ニ關係シテ居リマス
○子爵有地品之允君 九條ニアルノデスカ
○政府委員(男爵石本新六君) 修正案ノ一、二、三、四、五トアリマス其四、五デ
アリマス、ソレハ何カト云フト、明治三十七年二月六日以前ニ斯ウナリマシタ者、即チ
増加恩給ヲ致シタルト云フ條項デアリマス
○政府委員(財部彪君) 附表ノ第二號ノ卒ノ所ガ五段ニ書キ分ケテアル……
○政府委員(男爵石本新六君) 三十七年以前ハ陸軍一等卒ト云フモノガ海軍ノ
三等卒ト同様ノモノデアリマシテ、陸軍ノ二等卒ガ海軍ノ四等卒ニナッテ居リマシタガ、
今度ハ何モ彼モ合シテ一ツニナッテ居リマスガ、三十七年ニアリマス上等兵、一等卒、二
等卒ト云フモノガアリマシテ、陸軍ノ一等卒ガ海軍ノ三等卒、陸軍ノ二等卒ガ海軍ノ
四等卒ト肩ヲ比ベルト云フデアリマシテ、是ハ前ノ所デハ能ク分リマセヌカラ、總テ陸
軍ノ一等卒、海軍ノ三等卒ニモ此表ニ依ッテヤルノダト云フコトニナリマシタデアリマ
ス、ソレデ大要ハ唯今述ベマシタヤウナ次第デゴザイマス、御質問ガゴザイマシタラ、尙水御

答へ致シマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 御質問がゴザイマセウカ、其前ニ於テ衆議院ノ修正ニ政府ハ御同意カ、又ハ何カ御意見ガアルナラバ、ソレヲ前キニ伺フテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ……

○政府委員(男爵石本新六君) 昨日、本議場デ陸軍大臣ハ衆議院ノ修正ニ同意ト云フコトヲ申シテアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒタイ

○政府委員(財部彪君) チョット海軍ノ事ニ付イテ御説明イタス方ガ宜イ思ヒマスカラ申上ケマス、第十七條ト第二十四條ノ所デゴザイマス、是ハ事柄ハ改正ニナラヌノデアリマス、云ハハ未ダ少シ不備デゴザイマシタ所ヲ此機會ニ乘ジテ之ヲ整理シテ事實ト法文トシツクリ能ク合フヤウニナルト云フニ過ギヌデアリマス、其事ノ起ル元ハ陸軍ト海軍ノ間ニ於キマシテ懲罰令ニ觸レマシタトキニ身分ノ取扱方ガ少シ違フ所ガアルノデアリマスガ、陸軍ノ方ハ懲罰ニ附セラレタル者ハ降等ヲササル、コトガアルトゴザイマスガ、海軍ニハソレガ無い、元ノ條文ニハソレガ海軍ニモアルヤウナ工合ニ一緒ニ書イテゴザイマシタノデ、海軍ニハソレガ無いノデゴザイマス、ソレヲ陸軍ノ方ニ書分ケテ規定イタシテ明カニ致シタノデアリマス、ソレダケノコトデゴザイマスカラ、ソレ以上ノ細カイコトハ申上ゲナクテモ宜カラウト思ヒマス、

○男爵木本惟昭君 大體ノ所ニ付イテ一應質問ヲ試ミタイ、最初政府ガ御提出ニナツタノハ昨年ノ文武官ノ俸給ノ關係ヨリ起ツタデアリマスガ、今ハ全ク根柢ニ於テ之ヲ破ツテ仕舞フタト云フコトニナリマス、果シテサウデアリマセウカト云フノガ一ツノ質問、次ハ最初御提出ニナツタノハ、單ニ財政上ニ起テ四十二年四月後ノ退職者ト云フコトニナツタノデアリマスノデ、既往ニ溯テ同一ニ爲シ能ハヌト云フ理由ガ不明ノヤウニ思ヒマスカラ之ヲ伺ヒタイ、第三ニ於テハ四十二年四月ヨリスルト云フノハ畢竟、文武官ノ權衡ダト云フコトダケニアアルヤウデアリマスケレドモ、性質ノ上ニ於テハ文官ト武官トハ異ツテ居ルト本員ハ信ズルデアアル、即チ文官ガ退職スレバ從テ官ヲ免ゼラレ、退官ト同様ニ及ブノモアリマセウ、退職後ト云フモノハ如何ナル業體ニ於テモ何等差支ナイヤウニ思ハレマス、トコロガ武官ニ於キマシテハ戰時ノ勤務ト云フモノガ海軍ノ方ハ少ナイサウデアリマスケレドモ、陸軍ノ方ハ豫備後備タルハタチハ十分ノ八九マデハ戰時ノ勤務ヲ帶ビテ居ルハタチデアリマスカラ、其邊ノ考ヘカラ以テスレバ獨リ四十二年四月ヨリノ問題ハ新古ノ別ハ無いモノト思ヒマスガ、ソコニ區別ヲ立テラレタノヲ伺ヒタイ、第四ハ……

○政府委員(男爵石本新六君) ドウデスカ、餘リ澤山ニナルト忘レルトイケマセウカラ、三ツ位デ御止メヲ願フデ、アトハ又願ヒタイモノデゴザイマスガ……

○男爵木本惟昭君 ソレデ宜シウゴザイマス

○政府委員(男爵石本新六君) 第一ノ初メ政府カラシテ提出シタ案ト云フモノハ衆議院ノ修正ニ依テ全ク趣旨ヲ没却シテ仕舞フタハナイカ、ソレニ拘ラズ同意シタノハ、ドウ云フ理由カト云フ御質問デ、唯今大體ニ於テ説明ヲ致シタトキニ申上ゲマシタ通り、大體ニ於テハヒドイ變リハゴザイマセウガ、一部分ニハゴザイマス、ケレドモ此提出案トシテハ豫想シテ居リマセウ、増加恩給ノヤウナモノガ這入ツテ來マシタ、サウスルト初メノ趣意ノ一部分ヲ没却サレタト云フコトハ免カレナイト思ヒマス、併ナガラ大體ニ於テハサウ趣旨ヲ没却

シテ居ルトハ思ヘヌデアリマス、ソレカラ溯ルト云フコトハ是ハ本來ノ立チ前デゴザイマスカラ、有ルノガ當リ前デアアル、ソレヲ溯ラヌト云フノハイケナイト云フコト、寡婦孤兒ノ扶助料ノ溯ルト云フノハ、是ハ主義ガ違フト云フノヲ非難スレバ非難スル廉ハアルヤウデアリマスガ、併ナガラ法律ハ之ヲ執行スルトキニ於テ其條項ニ當ッタ者ニヤルノガ本來ノ趣旨デアアル、昨年ノ四月一日マデ溯ルト云フノハ増俸ト云フ關係カラ行ケバ或ハサウカモ知レヌガ、増俸ト云フコトハカリニアラズンバ幾分カ茲ニ開キガ出來テ、即チ一箇年ト云フモノ後ラセテモ差支ナイデアハナイカト云フノガ一ツノ理由デゴザイマス、ソレデ増俸ナルモノガ骨子ニナリテ居リマス、他ニモサウ云フ事バカリデナイコトノ意味ヲ含シテ居リマスカラ、茲ニ於テ之ヲ變ヘルニ於テハ全ク政府ノ意味ヲ没却シテ仕舞フタハナイカラ宜イデアハナイカ、又寡婦孤兒ノ扶助料ノ如キモノモ原案デハ四月一日マデ溯ラズ、ソレヲモット古クマデ溯ラセテモ何モ是ハ不都合ハナイデアハナイカ、同ジコトデアアル、且ツ是ハ今後ノ者ニヤルト直シタノハ何タル不都合ハナイ、今後生ジテ來ルモノデアアルカラ宜イデアハナイカト云フ、斯ウ云フ解釋ヲ衆議院ノ修正意見トシテハ取ツテ居リマス、此意見ニ對シテハ強ヒテ反對スベキデハゴザイマセウ、ソレト致シタ所ガ原案ノ意思ヲ全ク没却イタシタ譯デアハゴザイマセウカラ茲ニ同意ヲ表シタ譯デアリマス、モウ少シ委シク申上ゲテ置キマス、是ハ三分ノ一ヲ給スルト云フコトハ本來カラ云ツタラ四月一日マデ溯ラスノハワカシイノデアリマセウ、此提出案トシテ本來、俸給、増俸ト云フコトヲ主トシテヤレバ數字ガ違フ、唯單純ナル増俸ト云フコトデ此増俸ガ主眼ニナツタナラバ……必シモ増俸一點張りテハナイト説明シテ居リマス、ソレデアアルカラ増俸ト云フコトダケノ意味ノ説明ハワカシイ、其他ニモ原案ニ其意味ヲ含シテ居ル、併ナガラ之ニ修正ヲ加ヘテモ原案ノ意思ヲ没却シタ譯デアハナイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ御質問、即チ之ヲヤルノニ財政ノ都合上カラシテ舊來ノ者ニ及バヌ、ナゼ陸軍省ハソレデ満足スルヤウナコトニ致シタカ、ソレヲヤルナラバ舊來ノ者ニモヤルヤウナ考ヘラ付ケタラ宜カラウ、唯増俸増俸ト云ツテ増俸一點張りニハ及バヌ、文官ノ比例ニ取ルニモ及バヌ、先ヅ初メカラ申シマセウナラバ、陸軍モ海軍モ以前ニ溯ツテヤリ得タナラバ誠ニ結構、完備無缺、私共至極歡迎イタシマスガ、之ヲ實行シヤウト思フト、ナカノノ容易ナラヌ金ヲ要シマス、詰リ衆議院デ藏原君ガ申シタヤウニ金ハ何レ出ルカラ其時ニヤレバ宜イト云フガ、ソレヤルト云フコトニナルト、出來ナイ相談ト云フコトニ歸著スルノデアリマス、ソレデ此間、金額ノコトモ何デアリマスガ、大略陸軍ガ三百万圓、海軍ガ五十万圓デ、三百五十万圓年々歳出ニ向ケテ置イテハナケレバ出來ヌ、或ハ率ヲ減ジテヤラウト云フ說モアリ、二割三割ト云フ說モアル、又此金額ノ範圍内デアアルカラ他ノモノニハ及バヌヤウニシタラ案外出來マセウ、出來ナイデナイ、案外ホソリトヤルノモ其趣旨ヲ没却スルヤウニナリマス、甚ダ遺憾デアハゴザイマスガ、今日マデ既ニ恩給ノ權ヲ得タ人ハ此中カラ省イタト云フコトハ、是ハ衆議院デモ説明シテ居ル通り喜ンデヤッタ譯デアナイ、好ンデヤッタ譯デアハナイノデ、涙ヲ揮ツテヤッタ、甚ダ残念デアハゴザイマスガ或ル時機ガアツテ、ソレダケノコトガ出來ルヤウナ時機ガアリマシタナラバ、ソレ等ニモ均霑サセルト云フコトデ、決シテ當局者トシテハ、好ンデヤッタノデアアリマセウカラ、ドウゾ惡シカラズ……、ソレカラ第二ハ勿論、文武官ト云フモノハ元來ガ組織ガ違フンダ、文官ガ昇ツタカラト云ツテ武官ガ御供ヲシテ行ク必要ハ無いデアハナイカ、一方カラ言ヘバ斯ウノ云フ關係モ違フンダ、斯ウ云フコトデアアツ

ガ、元來、文武官ト云フモノハ離レテ居ルト云フコトハ無イカシラント私ハ思ヒマス、多少關聯ヲ取テ行クノハ適當デ、文官ニ厚クシテ武官ニ薄クスルト云フノモ穩カデナイシ、文官ニ薄クシテ武官ニ厚クスルト云フノモ穩カデナイ、國家ノ爲ニ盡スト云フコトニ付イデハ、多少ノヤリ方ハ違ヒマセウガ、サウ違ヒハゴザイマセウカ、之ニ均衡ヲ取テ行クト云フコトハ必要アラウト思ヒマス、ソレカラ今度ハ俸給ノ關係デゴザイマス、俸給ニ關係シテ勳カス必要ハ無イデハナイカ、文官ノ方ハ斯ウデアルト云フ御説デスガ、武官ノ方ト雖モ多少其意味合ハゴザイマスノデス、俸給ガ昇ガレバ恩給モ昇ゲテ行クト云フ意味合ハ含シテ居ルデゴザイマセウガ、衆議院デモ其説ヲ述ベラレマシタガ、ソナラバト云ツテ是マデ一圓、二圓トカ五圓、十圓ノ増減ハアリマシタケレドモ其度ニヤツテハ居リマセウ、今日マデハ二割五分ノ三割ト云フ著シク増額ニナツタト云フ場合ハゴザイマセウ、ソレデ今日ガ機會デアラウト云フコトデ今日之ヲ提出シマシタ、其額ハ大約俸給ノ三分ノ一、即チ文官ノ規程ニゴザイマスルモノト略、同一ナモノニナツテ居リマス、是ハ今度二割五分ガ二割ニナリマシタカラ其率ガ崩レテ來ハシナイカト思ヒマスガ、或ル部分ハ此率ガ、存シテ居ルデアラウト思ヒマス、要スルニ俸給ノ三分ノ一ト云フハ勿論、普通ノ文官ノ方デモ、一般ノ官吏ノ恩給モ三分ノ一デ……三分ノ一デヤナイ四分ノ一ト云フノガキマリデゴザイマスカラ、其四分ノ一ニ該當スル金額ニナリマシマセウデゴザイマス、殊ニ此上ノ方ノ階級ハ少ナクナリマス、此間衆議院デモ質問サレマシタガ、佐官ノ所ガ多イト云フコトデシタガ、佐官ノ所ハ少シ多イカモ知レマセウガ、兎ニ角割合ガ減リマシタノデ武官ニハ厚クシテ文官ニ薄イト云フ嫌ヒハ餘ホド無クナツタカト思ヒマス、是ガ第三……アトヲドウツ御質問ヲ願ヒマス

○男爵水本惟昭君 モウ一二件伺ヒタイノデスガ、當局者モ御承知ノ如ク、近來陸軍ニ於キマシテハ在郷將校ト云フ者ハ、殊ニ佐尉官ノ所ニ付イテハ勤務演習シテ召集サル、コトガ年ヲ逐ウテ數ガ多クナリマス、在郷將校團長トシテ聯隊區司令官ガ命令ノ下ニ演習ナリ講話ナリ毎年度回施行スルコトニナツテ居リマスルガ、其準備ノ爲ニハ、即チ此點ガ文武官ノ異ル所デ、衣服裝具其他ノ物ヲ準備シナクテハナラヌ、トコロデ今度恩給法ガ改正ニナツタ以上ハ、一管内ニ在ル者ニシテ一ニハ厚ク一ニハ薄クト云フコトニナツテ參リマスカラシテ、人情トシテ薄キ者ハ不平ヲ起スト云フコトハ免レ難イコトダラウト思ヒマスガ、此邊ニ付イテ陸軍當局ニ於カレマシテハ假令一管内ニ厚薄ガアツデモ決シテ差支ヘナイト云フヤウナ御見込デアリマスノカ否ヤト云フコトガ一ツ、ソレニ相伴ウテモウ一ツハ軍人中ニ於テ此不平心ヨリ一致ヲ闕クト云フコトガ生ジテ來ハシマスマイカ、實ニ怖ルベキ事柄ダラウト思フノデス、昨年ノ冬以來、陸軍ニ於テハ在郷軍人會ト云フモノヲ組織サレマシテ、其趣旨タルヤ精神ヲ練磨シ思想ヲ鞏固ニシ軍事上ノ發達ヲ期スト云フノガ御趣意デアル、トコロガ前項ニ申上ゲタヤウナ次第デ、恩典ノ厚薄ノ爲ニ一致ヲ闕イテ其實ガ舉ガラヌヤウナコトニナツテ來ハシマスマイカ、茲ニ付イテハ決シテ左様ナコトハアルマイト云フ御見込デアルカ、其邊ヲ伺ヒタイ

○政府委員(男爵石本新六君) 御答ヘ致シマス、是ハ多少ノ不平ト云ヒ、不足ト云ヒ、多少ノ不備ト云フコトハ、是ハドウモ免レナイノデ、何レノ時ニヤリマシテモ此事ハアリマス、三百萬圓、四百萬圓ノ金ヲ積ンデ一時ニヤルト云フナラハ譯ハナイガ、五年先キヘ

延バシテヤツテモ同ジコトデアル、十年先キヘ延バシテモ、百年先キヘ延バシテモ同ジコトデアル、イツノ時機ニ於テ實行シマシタ所ガ、一部分ニハ厚ク、一部分ニハ薄ク、サウシテ不平不滿ト云フコトハ免レナイト云フコトハ致シ方ナイト考ヘマスノデス、致シ方ナイデ以テヤリ付ケルト云フノハ餘リ無謀デヤナイカト云フ議論モ生ジマセウガ、サウスレバ改正ト云フコトハ見合ハスガ宜イ、ミンナガ少ナケレバ、ミンナ貧乏々々デ貧乏仲間デ宜イデヤナイカ、斯ウ云フコトニ歸著スル、或ハ藏原ガ言フガ如ク大ニ金ヲ積ンデヤルマデ待ツト云フノハ、取りモ直サズ貧乏デ我慢スル、斯ウ云フコトニ歸著スル、出來ナイト云フコトニ歸著スル、多少私ハ其コトハ耳ニシテモ居ルシ、不平ノ人ガアルト云フコトハ承知シテ居リマス、ケレドモ是ハ全クドウシタガ宜イカト云フコトハ考ヘガ及バナイ、仕方ガナイ、誠ニソレ等ニ對シテハ御氣ノ毒千萬デアルケレドモ、其不平ハ數年經テバ段々減ツテ行クノデス、十年二十年ノ後ニハ此不公平ハ無クナツテ仕舞フ、之ヲ十年ノ後ニ致スト云フコトニナルト更二十年ナリ二十年ナリ後マデハ依然トシテ其不平ハ殘ル、今日思切デヤツテ仕舞ヘバ是カラ十年二十年經テバ其不平ノ聲モ無クナツテ仕舞フ、ソレ等ノ人ガ土中人ニナツテ仕舞ツテ其不平ハ消エテ仕舞フト云フコトニナル、其間タケガ誠ニ氣ノ毒ト云フ感シガアリマスガ是ハ致方ガゴザイマセウ、之ヲ先例ニ徵シテ見マスルト、三十七年デゴザイマシタカ三十八年デシタカニ免除恩給ヲ改正シテ四割カ五割増シテ居ル、此時モ其不平ノ聲ガアレバ起ラナケレバナラヌ、又皆サン方ニモ其當時御諮リヲシテ皆サン方モ御贊同クダスタガ、全體不公平デハナイカ、ナゼサウ云フ不公平ナトラスルカト云フ御論ハ其時ニハ實際伺ヒマセナシタ、又今日ニ至ツテモ請願トカ何トカ云フコトデ不足ヲ言フノハ、増加恩給ニ對シテコソ言ヒマスガ免除恩給ニ於テハ、三十七年前後ニ於テ大ナル差ガアル、不公平デアルト云フコトハ下士卒ノ口カラハ申サナイ、却ツテ將校ノ口カラソレヲ不足ラシク言フニ至ツテハ實ニ慨歎ニ堪ヘナイ、ケレドモ是ハ決シテ之ガ無イコトデモナイ、又之ヲ申スノガ無理トモ思ヒマセウ、併シ今日ノ情態ハ前申上ゲマスルヤウニ、サウ之ガ爲ニ將校ノ間ニ軋轢ヲ生ズルノ、不平ヲ起スト云フコトハ萬無カラウト思ヒマス、殊ニ下士卒ノ者デハサウ不足ヲ言フコトハ無カラウカ知ラント思ヒマス、無理カモ知レマセウカ、マア是デ納得シテ置クヨリ仕方ガナイ、ドウゾ然ルベク……

○男爵水本惟昭君 次ノ一致ヲ破ル所ノ御懸念ハ如何デスカ

○政府委員(男爵石本新六君) 大シタコトハアリマセウ

○男爵有地品之允君 此案ニ直接ノ關係ハ無イコトデアリマスルガ、陸軍、海軍ノ恩給ヲ受取ル者ノ總數ハ、陸軍ハ陸軍、海軍ハ海軍デドノ位ノモノデスカ

○政府委員(男爵石本新六君) ソレハ茲ニ委シ表ガアリマス、是ハ少シ古クハアリマス、四十二年二月末日ノ調デゴザイマスガ、退職恩給ヲ取ツテ居ル人間、即チ將官トカ、准士官、下士卒マデ入レルト、退職恩給ノ者ガ八千六百四人デゴザイマス、ソレカラ免除恩給ノ者ガ七千八百五人、ソレカラ扶助料ヲ受ケル者ガ九萬五千三百三十九名……

○男爵野田裕通君 ソレハ海軍モ這入ツテ居ルノデスカ

○政府委員(男爵石本新六君) 陸軍タケテ御話シテ居リマス、金額モ皆分ツテ居リマス、ソレカラ軍人軍屬マデ入レルト、此時ノ調ガ一千二百六十二萬三千八百八十二圓ト云フ金額ニナツテ居リマス、是ハ前ノ太政官ノ達ヤ其他二十四號法律ノ扶助料、ソ

シナモノヲ總テ籠メマシテ其金額ニナッテ居リマス

○政府委員(財部彪君) 海軍ノ方ヲ申上ゲマス、恩給ニ當ッテ居ル者ガ一万七千六百二十八、之ヲ少シ委シク別ッテ申シマスルト……

○男爵有地品之允君 總數デスカ

○政府委員(財部彪君) サウデス、恩給ダケデアリマス、細カク別ッテ申シマスルト、退職恩給ガ千七百七十八、免除恩給ガ一万五千七百六十一人、其他、昔ノ法律ニ依ッテ恩給ヲ受ケテ居ル者ガアル、是ハ其殘リノモノデゴザイマシテ、丁度マア七百八人足ラズデアリマス、其恩給ノ金ノ方ガ百七十一万九千五百二圓ナニガシト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ扶助料ノ方ヲ申上ゲマス、扶助料ノ方ガ五千六百九十九人、是ハ寡婦モ孤兒モ又父母、祖父母、ソレ等ヲ纏メタデアリマス、人數ガ五千六百九十九人デ、其金額ガ三十二万三千八百四十一圓デアリマス、サウシテ此調ハ四十二年二月末日ノ調デゴザイマス

○政府委員(男爵石本新六君) 先キホド二月ト申上ゲタカモ知レマセヌガ、四十二年十二月末日ノ調デアリマス、若シ二月ト申シマシタラ御訂正ヲ願ヒマス

○男爵村上敬次郎君 私ハ少シ細カイ事ヲ伺フヤデアリマスガ、衆議院ノ修正ニ付イテチヨット同ヒタイノデアリマスガ、此修正案ノ第五項デス、即チ「三十七年二月六日以前現役ヲ離レ增加恩給ヲ受クル者ニ對シテハ」云々ト云フデアリマスガ、是ハ衆議院デモ問題ニナッタと思ヒマスガ、ソレニ對シテ前ニハ一時賜金ガアル、ソレデ増加恩給ヲ増ス必要ハ無イト云フコトモ承ッテ居リマスガ、今度之ヲ十分ハ八ニ相當スル増加恩給ヲスルト云フコトニナリマスルト、前ノ役ノ者ト日露戰役ノ者ト比ベテ不公平ガ起ルヤウナコトハナイデアリマセウカ

○政府委員(男爵石本新六君) ソレハ不公平ノ無イヤウニ十分ノ三ト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、チヨット茲ニ比較表ガゴザイマスルガ、三十七八年戰役ノ者ノ増加恩給ダケデ申スト、曹長ガ二百十六圓デアリマス、今度ノ案ニ依ッテ見マスルト、三十七八年戰役ノ者ハ五十三圓シカ貫ッテ居ラナカッタノガ、今度ハ百七十三圓ト云フコトニナリマスルカラ、四十三圓ダケ増スコトニナリマス、此増加恩給ダケデ申シマシテモ、片一方ハ二百十六圓、片一方ハ百七十三圓デスカラ、大分差ガゴザイマス、加フルニ前ニ申シタ免除恩給ナルモノガ加ハッテ居リマス、ソレデスカラシテ割合ガナカク、多ウゴザイス、三十七八年ノ方ガ……ソレカラ一時賜金ナルモノ、之ヲドウ使フカ、此使ヒ方ニモ依リマスガ、濟崩シニ使ッテ行クト云フコトニシマスルト、此差ダケヲ使ッテ行キマシテ、二十年ホド經チマスルト云フト、ソレダケノ金額ガ殆ド無クナッテ仕舞フ、斯ウ云フコトニナリマス、即チ此差ニ付イテドウ云フヤウニ使フコトニシテ一時金ヲ貫ッテ額ヲ其年々ニ使ッテ行クト云フト、同ジダケノモノヲ使ッテ行キマス、其間ニアト二十年ノ相違ノ爲ニ利息ガ付クトカ、細カイ算用ヲシタラ細カイ違ヒガ起ッテ來マセウガ、大體ニ於キマシテ官等ニ依リ、五項ノ如何ニ依ッテ違ヒマスガ、先ヅ二十年或ハ二十五年ノ間ハ同ジヤウニ行キマスルガ、二十五六年先キニナルト其差ガ起ッテ來マス

○男爵村上敬次郎君 其次ノ第六項ノ者デスカ、修正案……以前ノ分ト之ニ依ッテ給セラル、者ト、ドレダケノ差ニナリマスカ

○政府委員(男爵石本新六君) 是ハ込入ッテ居リマスカラ調ベテ後デ申上ゲマス、今日ノ恩給法トハ大分込入ッテ居リマス、扶助料トシテ貰ッテ居ル者モアリ、一時金ヲ貰ッテ居ル者モアリマシテ、ナカク、込入ッテ居リマス

○政府委員(吉村八十三君) 唯今御問ニナリマシタ八年ノ規則、九年ノ規則ニ依リマスルト、恩給ト云フモノハ増加恩給ト云フモノト、免除恩給、退職恩給ト別々ニナッテ居リマセヌ、總テ一ツ括リニ給シテ居ル、又怪我ノ程度ニ依ッテ現行ノ恩給ハ六段ニナッテ居リマスガ、其當時ノ規則ニ依ルト二段ニナッテ居リマス、比較ハチヨット立チマセヌ、從ッテ此修正案ニ於テハ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト斯ウ書キマシタ、命令ニ於テドレハドレニ相當スルト云フコトヲ決メル答ニナリマス、唯今丁度是ダケ殖エルト云フコトヲ確實ニ此所デ申上ゲ兼ネマスルガ、大體大キナ所デ取ッテ申シマスルト、大尉ノ官等……大尉以上ハ殆ドゴザイマセヌ、大尉ノ官等デ一號表……是ガ年ニ六百三十三圓、一番多イ所デ……之ヲ三十七年ノ年ノ改正ノ増加恩給ニ較ベマスルト先キホド申上ゲマシタヤウニ、此方ハ百二十圓多イデアリマス、百二十圓ダケ舊イ方ガ多イノデ、九年ノ方ニ比較シマスルト一年ニ四百四十八圓、是ハ三十七年以前ノ日清戰爭當時ノモノニ比較シテ見ルト六十二圓少シ……中尉ノ階段ヲモウ一ツ申上ゲテ置キマス、此方ハ一號表デ五百七十圓取ッテ居ル、此軍人恩給ノ方ノ比較ハ八十七圓多イ、九年ガ三百二十圓……六十三圓ダケ多イ、ソレカラ下士兵卒ノ方ニナリマスル、元ノ方ガ少ウゴザイマス、此度ノ規則ニ依ッテ追給スルコトニナッテ細カイ表ガ出來テ居リマスカラ、差上ゲテ御覽ヲ願ッテ宜シウゴザイマス

○男爵有地品之允君 先刻大體御説明ノ上デハ、今度御提出ニナッタ案ヨリモ衆議院ノ修正ノ方ガ上ノ方ヲ減シテ下ノ方ヲ多クスルト云フヤウニ伺ッタノデゴザイマスルガ、此表ヲ見ルト云フト、一號表ノ退職恩給ト云フ所ノ一號ト云フ所ハ却ッテ此修正案ノ方ガ四十圓ホド多イヤウニナッテ居ルヤウニ見エマスルガ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(男爵石本新六君) 退職ノ恩給ノ御質問デスカ

○男爵有地品之允君 ハイ

○政府委員(男爵石本新六君) 大體ニ於キマシテ一割五分ノ方ヲ二割ニ減シタイト申上ゲタノデゴザイマス、退職恩給ハ親任官若クハ一等ト云フ所デ即チ一方ノ方ノ一番ノ出發點ニ於キマシテ是ハ變リハアリマセヌ、大將ノ所、即チ親任官デ申シマス、是マデ千五百圓デアリマシタガ、改正案デハ千八百圓ニシマシタ、今度ノ衆議院ノ修正デモ矢張り千八百圓、一等ト云フ所即チ中將ニ相當スル所ハ千二百圓デアリマシタガ、改正ノ方デハ千四百圓、衆議院ノ修正案デハ千四百四十圓、此所ハ四十圓殖エマスガ、之ヲ少シ先キノ方ヘ行ッテ見テ下サイ、十七年ノ所ニ行クト同ジコトニナッテ居ルガ、十八年ノ所デトスト減シテ來テ居ル修正案ノ一番終ヒノ五十年ト云フ所ヲチヨット御覽クダサルト、大將ノ所デハ二千六百五十五圓ト云フコトニナッテ居リマスルガ、衆議院ノ修正案デハ二千九百七十圓ニナッテ、矢張り減ッテ居リマス、又一等官ノ所デハ二千五百七十圓ガ二千三百七十六圓ト云フコトニナル、初メノ出發點ノ所ハ割合ニ修正案ハ改正案ニ近イノモアリ、或ル部分ハ殖エテ居リマスガ、併シ親任官一等官ハ二割五分ガ二割ニ減ッテ居ルデアリマス、又事實ニ於キマシテ親任官一等官、二等官ナル者ハ十一年、十二年若

クハ十二年十四年、乃至二十年以内デ、此官等ニ昇ルト云フコトハ殆ド無イ、現今ニシマシタ所ガ二十年未滿デ大將中將ノ恩給ヲ貰フテ居ル者ハ一人モ無イ、尻ッポノ方ノ四十年若クハ四十年前後ノ年數ノ人デ戰役ニ關係ノゴザイマスル者ガ多イノデゴザイマス、表ノ體面ヲ作ルタメニ十一年カラ出來テ居リマスルガ、是ハ不用デアリマス、之ニ反シテ海軍ノ方ニハアルカモ知レマセヌガ、陸軍デハ大尉以下ノ者ハ五十年デ、四十年デノト云フ年數ハ殆ド實際ニハアリ得ベカラザルコトデ、ソレモ言ハ、無イト云ウテ宜シイノデゴザイマス、併シ表ノ體面ノ上ニ於テ是ガ出來テ居リマスガ下ノ方ノ階級ハ年限ノ多イ所ハ不用デガ、上ノ方ノ階級ハ年限ノ少ナイ所ハ實際不用デス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵有地品之允君 年數ノ増加額ガ減ッテ居ルト云フノデスカ
○政府委員(男爵石本新六君) 舊ト五圓トゴザイマシタノハ今度ノ改正案デハ七圓トシタ、間ガ五圓ツ、上ガツタ、トコロガ二十年二十一年ノ所デハ六圓、二十五年二十六年ノ所ハ七圓上ガツタ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス
○男爵茨木惟昭君 今、有地男爵ノ御問ヒノ方ハ分リマシタガ、其御説明ニ依ッテ更ニ斯ウ云フ疑問ガ起ッタデアリマス、第二號ノ免除恩給表ノ二等ノ所デ、最後ノ五十年間ノ云フ所ニ、最初政府提出案ハ二百二十七圓トナッテ居ル、今度衆議院ノ改正ハ二百二十六圓トナッテ居ル、御説明ノ如ク下士ニシテ五十年ト云フノハ有リ得ベカラザルコトデアレバ、ツレダケデアリマスガ、表面上カラ言ハ判任下士以下ノ所ハ厚クスルト云フコトハ消エテ仕舞ヒハセヌカト思フ

○政府委員(男爵石本新六君) 下士ハ今度厚クモシナケレバ、薄クモシナイノデアリマス、タゞ表ノ體面ヲ整ヘマス爲ニシテアルノデ、此所デモ五十年ノ所デ二百二十七圓ガ二百二十六圓、二百二十三圓ガ二百十四圓、一圓クラ井ノ差デアリマスガ、併シ大體下士ニ付イテハ今度ハ手ヲ付ケナイ、二割ヲ標準ニシタデアリマス

○男爵茨木惟昭君 一圓カ二圓カノ差デアルカラ、御説明ノ通りデ宜イヤウナ譯デアルケレドモ、下士ヲ現狀ニ置クト言ハ、固ヨリ二割ノ割出カラ言ハ、最後五十年ニ二百二十六圓ニナッテ居ル、是ハ前ト變ラヌ、其上ノ等級デ一年今度減シテ居ル、其ノ上ノガ政府カラ一年殖エタシタ、其上ガ一圓足リナクナッテ居ル、斯ウ云フコトガ大變體裁ガ惡リト思フカラ……

○政府委員(男爵石本新六君) 是ハ初メノ算出ノ方法ガツレヲ合ハシテ直シタノデ修正ヲ試ミマシタ、大體ニ於テハ二割ト云フコトニ付イテハ動キハ無イ
○男爵茨木惟昭君 有地男爵ノ問ヒニ對シテ御答ヘニナッタ通り、大將以下將官ハ最後ニ至ッテ減ズルト云フカラ誠ニ能ク分リマシタ、ソコデ救助恩給ノ第四號表、將官及相當官ト云フモノヲ割出サレテ居ル、是ハドウ云フモノデ、無用ナモノヲシタノデアルカト云フ考ヘデアル、何故ナラバ將官タルモノハ二十年ノ服役ヲシタモノハ昇ッテ來ル、其間ニ病死トカ、十年以内デ將官ニ昇ルベキ人ハ無イト云フコトデアル以上ハ、此四號表ノ將官及相當官ハ削ッテ佐官以下デ宜イデヤナイカト云フ疑ヒガ起ル

○政府委員(男爵石本新六君) 或ハサウカモ知レマセンガ、給助金ハ恩給法ヲ御覽クダサレバ分カルガ、現役デ歿シテ恩給ヲ受ケ無イ者ニハ此給助金ト云フモノ

ヲ一時金トシテ賜ハル制度ニナッテ居ル、ツレデアルカラ現役デ歿シマス、恩給ニ手ヲカケズ、扶助料ニ引越ス人ハ給助金ヲ賜ハルカラ、ツレハ最下限ノ十一年ニ依ッテ……

○男爵村上敬次郎君 唯今伺フノハ今度ノ案ニハ關係ナイコトデアリマスガ現役軍人ガ即チ先ツ休職ナラバ休職ニ居ル軍人ガ貴族院議員ニナルト、陸軍デハ分限令ニドウナルカ、海軍デハ即チ豫備ニ這入ルコトニナル、トコロガ休職ニアル有爵者ノ軍人ガ貴族院ニ當選スルト、其場合ニハ恩給法ノ今日ノ明文ニ依リマス、何カ手續ガ無ケレバ直チニ恩給ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居ルデアリマス、然ルニ往々誤解シテ豫備ニ入レバ自然恩給ハ受ケルモノト考ヘテ、往々手續ヲ誤ッテ或ハ恩給ヲ受ケルコトガ出來ナイ、又ツレガ爲ニ後カラ手續ヲ行フト云フヤウナコトガアツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、斯カル場合ニ恩給法ニ貴族院議員ニナッタキニハ恩給ヲ受ケル明文ガ無イ、復役ニハアリマスケレドモ、何カ陸軍ニハサウ云フ例ガ有ツタト云フコトヲ聞イテ居リマス、海軍デハ承ッテ居リマセヌ、何カ其間ノ繋ギヲ付ケルト云フコトニ付イテ恩給法ノ或ル一部ノ改正ヲ行フ積リガアリマスカ

○政府委員(男爵石本新六君) 此考ヘハ有ッテ居リマセヌ、此恩給法デ唯今ノヤウナ不都合ナ點ハ萬々生ジナイト思ウテ居リマス、今ノ恩給法ノ規定ニ基ケバ豫備ナリ後備ニナッタ者ハ恩給ヲ受ケル權利ガ有ルノデゴザイマス、ツレハ其豫備ニナルニハ其理由ガアルカ知ラヌガ、茲ニ規定シテアル點ニ於テハ年限ガ滿限ニナッテ後備ニナッタ、或ハ身體ノ關係カラ豫備ニナッタト云フ人タチハ直チニ恩給ヲ受ケル權利ガ生ジマス、一概ニ貴族院ノ議員ニ選出サレタト云フ所デ、豫備ナリ後備ニナルノハ同時デアリマスカラ、矢張り權利ハ伴ッテ行クノデ、貴族院ノ議員ニナッタカラ恩給ヲヤラナイト云フコトハゴザイマセヌ、是レデ差支ナイト思ヒマス

○男爵村上敬次郎君 私ノ御尋ネシタ所ガ少シ徹底シナイヤウデアルガ、今日ハ有爵者ノ軍人ガ貴族院議員ニ當選サレタ場合ニハ、貴族院議員ニ當選サレ、ハ別ニ何等ノ手續ナクテモ恩給ヲ受ケルコト云フ權利ヲ生ズルデアリマスガ、生ジナイノデアリマスカ
○政府委員(男爵石本新六君) ツレハ分限令ニ於キマシテ斯ウ云フ規定ガアリマス、貴族院令ノ第何條カ……第四條カ第ニ依ッテ貴族院ノ議員トナッタモノハ豫備ニナル、斯ウ云フ規定ガアリマス、ツレデアリマスカラ貴族院ノ議員ニ當選スレバ當然豫備ニナル……互選ノ場合ニ……ツレダカラ豫備ニ否應ナシニナッテ仕舞フカラ、豫備ニナレバ從ッテ恩給ノ權利ハ發生スルト云フ考ヘデアリマスカラ、別ニ規定ハ要サナイト思ヒマス

○男爵村上敬次郎君 サウスレバ即チ是レダケ伺ヘバ宜シイ、分限令ニアルコトモ疾ウニ承知シテ居ル、身體ノ關係デ或ハ現役ニ堪ヘヌ者ト認メラレテ諭サレルト云フ外ニ、貴族院議員ニ當選スレバ、直チニ豫備ニ入ルガ爲ニ直チニ權利ヲ生ズルカ否ヤト云フコトヲ聞クノデアリマス

○政府委員(男爵石本新六君) 是ハヤッデイケナイノハ、斯ウ云フ者ニハ恩給ヲ給シナイト云フ除外例ガアリマスケレドモ、此除外例ガ無クシテ、斯ウ云フ軍人ニ恩給ヲ給スルト云フコトノ本條デ豫備ニナッタ者ハ當然恩給ヲ受ケル權利ガアルト思ヒマス、從ッテ此

除外ノ中ニハ或ハ此國籍ヲ脱スルカ何トカ云フ特別ノ除外例ガアル、ソレ等ノ者ハ恩給ヲ受ケマセヌガ、唯今ノ御話ノ如キハ無論得ベキモノト考ヘマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 御質問ガゴザイマセネバ討論ニ移リタイト考ヘマスルガ……

○男爵有地品之允君 私ハ質問ハアリマセヌ

○委員長(男爵小澤武雄君) 質問ハモウ大抵盡キタヤウデアリマスカラ討論ニ移リタイ、若シ質問モ何モ無ケレバ採決シヤウト存ジマスガ、今御出席ノ御方ニシテ何ゾゴザイマスレバ承リタイ

○岡野敬次郎君 御採決ニナリマスナラ御議論ノアツタキニ致シマスガ、若シ私ノ参リマス前ニ議論ガアツタナレバ其點ダケ言フテ戴カスト賛否ニ困リマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 質問ハ出マシタケレドモ議論トシテハ何モゴザイマセヌ別ニ……

○男爵野田豁通君 モウ御質問ガ終リマスレバ御採決ノ場合ニ賛否ヲ述ベテ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 宜シウゴザイマス

○男爵野田豁通君 私ハ此軍人恩給法ノ文武官ノ權衡ヲ取ル、竝ニ改正案ノ成立ヲ致スト云フコトニ付キマシテ滿腹喜シテ協賛ヲ致スノデゴザイマス、併シ一言私ノ考ヘラ申シ添ヘテ置キタイノハ、此法案ヲ受取りマシタノハ昨日デゴザイマシテ、十分之三付イテ研究ヲ致シマス餘地ガゴザイマセヌ、御提出ノ理由ニ付イテハ私ハ宜シク研究イタシタイト存ジマス、併シ唯今申シマス通り、モウ會期ノ餘日モゴザイマセヌ、又私ノ記憶ノ存シテ居リマスル所モ、恩給法ノ制定セラレマシタ後、數年ヲ經テ居リマスカラ、尙ホ記憶ノ不確カデゴザイマスカラ、茲ニ喋々自分ノ不確カナ考ヘラ以テ述ベマスノハ差控ヘマシテ、御提出ノ趣旨、衆議院ノ御答辯ノ速記等ニ依リマシテ本案文武官ノ俸給上ノ異ナル所ヨリ致シマシテ、是ハ自然ニ文武官ノ如キハ俸給令ノ増加ニ伴ウテ恩給モ増加シ、軍人ノ恩給法ハ特ニ制定セラレテ居リマス爲ニ、唯文武官同様ニ増加スルコトガ出來ズ、故ニ今般改正案ガ提出サレタモノト致シマシテ、果シテ右ノ提出ニナリマシテ……俸給ニ伴フ所ヨリ第一ニ生ジ、次ニハ物價ノ騰貴ノ爲ニ要スルモノト致シマスレバ、此後尙又物價騰貴シ俸給ガ増加スル場合ニハ再び又此恩給法ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトニナリマスカラシテ、何カ是ハ矢張り俸給ガ増加スルコトニハ自然ニ文武官同様ニ軍人ノ恩給モ特ニ其時ニ改正ヲ要セズシテ、増加スルコト云フコトノ手段ハ無イモノデアラウカト考ヘマスガ、是ハナカノサウ一朝一夕ニ單純ニ考ヘニナリマスマイシ、又私ニモ今斯様ニシタラバ宜カラウト云フ考ヘモ有チマセヌカラ、唯自分ノ考ヘニ浮ビマシタケテ申添ヘテ置キマスノト、又衆議院ノ修正ニ於キマシテ、ドウモ衆議院ノ修正ハ矛盾ヲ致シテ居ルヤウニ考ヘマスノデ、決シテ衆議院ノ修正ヲ適當ナル修正トハ認メマセヌノデ、ソレハ此四月一日ヨリノ原案ガ改正ヲ實行セラル、ノ案デアツダノガ、法律ノ溯ルノハ不都合デアルト云フ口實ノ下ニ施行ノ日ヨリ修正シ之ニ反シマシテ扶助料、増加恩給ノ如キハ溯リテ居ル、是等ノコトニ付キテハ十分尙ホ研究ヲ致シテ見タイと思ヒマスノデスケレドモ、前述ベマス通り時日ガ迫ッテ居リ、殊ニ種々ナコトニ涉リマシテ、ソレガ爲ニ折角ノ不

分ナガラモ茲ニ成立チ掛ッテ居リマスノニ妨ケテ致スノハ、此恩給改正等ヲ歡ンデ協賛シタイト云フ趣旨ニ又妨ケテ致シマスカラ、ソレ等ノコトハモウ私ハ今日ハ總テ申シマセヌ、茲ニ此修正案ノ通りニ協賛ヲ致スト云フコトヲ申シテ置キマス

○男爵沢木惟昭君 本員モ此改正ニ付キマシテハ衆議院ノ修正通り同意ヲ表スル一人デアリマス、然ルニ先刻モ政府委員ニ質問ヲ致シマシタ通りノ次第デ、一管内ニ於テ一ニ厚ク一ニ薄クト云フコトハ、人情トシテ不平心ヲ起スノ根源デアリマスカラシテ、軍人ノ必要ナル一資格ヲ關クト云フコトニ付イテハ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイデアリマスカラ、今年以後ト雖モ財政ノ許ス限リハ何カ其所ニ一ノ御考察ヲ立テ置カレタイト云フ條件……ト申シテハ如何ハシイカ知リマセヌガ、其希望ヲ殘シテ贊成ヲ表スル次第デアリマス

○男爵村上敬次郎君 私モ簡單ニ意見ヲ申シテ置キマス、私モ此案ニ對シテハ今日ノ場合ニ於テ大體贊成スル者デアリマス、ソレヲ細カク申シマスレバ、此恩給ノ増加ノ割合ハ私ハ政府案ノ通りガ宜シイと思フデアリマス、又之ヲ打切ルト云フコトニスル以上ハ、現在恩給ヲ受ケテ居ル者ノ遺族ノ扶助料モ、私ハ政府案ノ方ガ道理上正當ダト思ッテ居リマス、併シ豫備、後備ノ中ニ在ル者ト文官ト其趣ヲ異ニシテ居ルト云フコトハ今日色々御質問モアツタコトヲ分ルシ、又サウデアラウト思フデアリマス、ソレニエ是ハ必シモ俸給ニ伴フモノデアリタイト云フコトモ明デアリマスカラ、即チ之ヲ一般ニ均霑スルト云フコトハ出來得ル限リ必要ナリ、又適當ナ公平ナ處置ト私ハ考ヘテ居ル、ソレニエ私ハ一ツ希望ヲ述ベ、即チ唯今沢木男爵カラ御述ベニナッタヤウニ、政府ハ成ルベク近キ時機ニ於テ現在退職恩給ヲ受ケテ居ル者ニ對シテモ相當ノ即チ均霑スルヤウナ方法ヲ講ジテ提出サレムコトヲ希望スルト云フ條件ヲ附シテ之ヲ贊成イタシマス

○男爵外松孫太郎君 唯今、村上男爵ノ述ベラマシタ趣意ニ依ッテ本案ニ贊成ヲ致シマス

○子爵加納久宜君 私ハ暫ク闕席シテ一向此御質問等ノ經過ヲ存ジマセヌデシタガ、タゞ一言伺ッテ置キタイコトハ、此案ハ衆議院デ大分修正ガアリマシタガ、此修正ニ付キマシテハ政府ニ於カレマシテ別ニ御不同意ハ無イト云フコトデゴザイマセウカ、段々其御質問モ出タコト、思ヒマスガ、委員長ニチヨット伺ヒマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 勿論其御質問モアリマシタガ、昨日、本議場ニ於テ陸軍大臣カラ衆議院ノ修正ニ同意スルト云フ言明ニナッテ居リマス……ソレデハ衆議院ノ修正ノ通りニ決シテ宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○男爵村上敬次郎君 私ノ希望ヲ一ツ委員會ノ決議トシテ御加ヘニナラムコトヲ希望シマス、一ツソレニ付イテ御決議ヲ願ヒマス

○委員長(男爵小澤武雄君) 段々同ジヤウナ御希望ガゴザイマシタヤウデアリマスカラ、サウスルト唯今、村上君ノ提議ノ通りニ政府ハ將來ニ於テ何トカ恩給等ノ方法ヲ改正スルコトニ注意ヲシテ吳レト云フ希望ヲ此委員會ノ決議トシテ置キタイ、斯ウ云フコトデゴザイマス

○男爵村上敬次郎君 成ルベク近キ時機ニ於テ相當ノ處置ヲ執ラレムコトヲ希望スルト云フ……

○男爵有地品之允君 今、村上君カラ御請求ガゴザイマシタガ、私ハ此衆議院案ニ對シテ贊成ヲスル一人デアリマス、固ヨリ此衆議院ノ修正案……政府提出案ガイツマデモ修正ヲ再ビスルコトノ無イヤウナモノトハ思ヒマセヌ、時勢ノ進運ニ依ッテ又修正ヲシナケレバナラヌト云フ時機ガ來ルカモ知レマセヌケレドモ、今カラ近キ將來ニ於テ尙ホ修正ヲスルト云フ條件附ニハ私ハ贊成スルコトハ出來マセヌ

○男爵野田裕通君 少シ唯今ノ御決議前ニ決木男爵、村上男爵ノ御意見ヲモウ少シ確メテ置キタイト思ヒマス、先刻決木男爵ヨリ段々御質問ニ付キマシテ陸軍次官ノ御答辯ニ依リマスレバ、簡單ニ申セバ財政ガ許サナイ、出來得レバ成ルベク豫後備ノ軍人マデニモ及ビタイガ、到底今日ノ財政ガソレニ應ズルコトハ出來ナイ、先ツ今日ハ目前ノ急ニ依ッテ下士ダケト云フ御答ヘガゴザリマシタガ、先ヅ私ハ其陸軍次官ノ先刻ノ御答ヘダケデ宜シカラウト思ヒマスガ、其財政ノ如何ニ拘ラズ急ニヤリタイト云フ御希望アルヤ否ヤト云フコトヲ御確メ申シテ、ソレニ依ッテ贊否ヲ決シマス

○男爵村上敬次郎君 私ハ財政ノ如何ニ依ラズ……財政ノ如何ニ拘ラズ無理ニモ注文ヲシタイト云フ積リデアリマセヌカラ、先刻ノ陸軍次官ノ御答ヘト抵觸ハシテ居ラヌ積リデアリマス、併シ成ルベク近キ將來ニ政府ハ相當ノ處置ヲ執ラレタイト云フノデ、如何ナル時機ト云フコトハ政府ノ御考ヘニアラウト思ヒマス、必シモ唯今、野田男爵ガ言ハレル如ク、政府ノ財政ハドウデモ宜シイカラ、此方ヲ御出シナリタイト云フノデアリマセヌカラ、ソレダケ御答ヘシテ置キマス

○岡野敬次郎君 私ハ此恩給法ニ付キマシテ、格別異議ハアリマセヌノデ、即チマダ十分調ベテ居リマセヌノデアリマス、衆議院ノ修正ニ矢張り贊成ヲ致ス積リデアリマス、出席イタシタ譯デアリマスガ、唯今、村上君ノ御希望ト云フコトヲ、茲ニ委員會ノ決議トシテ發表スルト云フコトニ付イテハ、私幾分ノ疑念ヲ懷イテ居ルノデアリマスガ、ソレハ現行ノ軍人恩給法、又今回提出ニテリマシタ所ノ改正案其モノ、當否ト云フ問題デモアリマセヌ、又現在行ハレテ居ル文官恩給法ノ當否ト云フコトヲ私ガ申スノデモアリマセヌガ、イッカハ是ハ財政問題ト牽聯ハ致シマスケレドモ、恩給法其モノ、全部ニ付キマシテ、通ジテ大イニ其研究ヲ要スルコトガ私ハアルデアラウト思フノデアリマス、必シモ私ハ文官恩給法トハ申シマセヌ、又軍人恩給法ト云フデモアリマセヌ、恩給制度ト云フモノ、攻究ヲスル必要ガアルデアラウト思ヒマス、既ニ文官ノ恩給法ニ付キマシテモ、數年來多少議論ガアルノデアリマス、又議論ノ有ル點ハ私一人ガ考ヘテ見マシテモ尤モナル點ガアリマスガ、併シ今如何ニ改正スルト云フコトニ付キマシテハ、私モ考案ハ無イ、有リマセヌケレドモ、何レハ恩給制度ヲ根本的ト申シテハ大キイカモ知レマセヌガ、大イニ將來改正ヲ要スル時機ガ私ハ有ルデアラウト思ヒマス、特ニ此軍人恩給法其モノニ付イテノミ、私ハ此委員會ニ於テ希望トシテ決議シテ置クト云フコトハ少シ誤ッテ居リハセヌカト云フ疑ヒヲ有ッテ居リマス、又必シモ是ガ決議ヲスル程ノ必要ハ無カラウト思ヒマス、此案ダケニハ私ハ贊成シマスガ、希望ニハ遺憾ナガラ私ハ贊成スルコトハ出來マセヌ

○委員長(男爵小澤武雄君) 村上男爵ニ御相談イタシマスガ、是非之ヲ決議デナクテハナラナイト云フノデゴザイマスガ、私カラ報告スルトキニ斯ウ云フ多數ノ御希望者ガ有ッタト云フコトヲ陳述シテ置ク位デ御濟マセニナルト云フノ意味デハナイノデアリマスガ、ソレ

デナケレバ採決シマスガ……

○男爵決木惟昭君 村上男爵ト私ガ引合ヒニナッテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ今委員長長ガ御述ベニナッタヤウナ鹽梅デ宜シイ積リデアリマス

○男爵村上敬次郎君 私ハ決議ニナラムコトヲ希望シテ居リマスケレドモ、斯ウ云フコトヲ御報告クダサレバ、ソレデ満足イタシマス

○委員長(男爵小澤武雄君) ソレデハ此修正通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵小澤武雄君) 御異議ゴザイマセヌケレバ可決イタシマス、ソレデハ此……

○男爵有地品之允君 私ハアトノ二案トモ異議ハゴザイマセヌ

○委員長(男爵小澤武雄君) 三案トモ……明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、ソレカラ明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案、此二案ヲ問題ニ致シマスガ、衆議院ノ修正アルモノハ修正ノ通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵小澤武雄君) 御異議ガ無ケレバ可決、ソレデハ是デ……

午後零時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵小澤 武雄君

委員 子爵加納 久宜君 男爵有地品之允君 男爵決木 惟昭君

男爵野田 裕通君 男爵村上敬次郎君 男爵外松孫太郎君

岡野敬次郎君 桑田 熊藏君

國務大臣 陸軍大臣 子爵寺內 正毅君 海軍大臣 男爵齋藤 實君

政府委員 陸軍次官 男爵石本 新六君 陸軍省參事官 吉村八十三君

海軍次官 財部 彪君 海軍主計大監 藤田 經孝君

明治四十四年三月二十八日印刷

明治四十四年三月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局